

令和4年度 県立磯原郷英高等学校自己評価表

目指す学校像		阿武隈の山並み、常磐の大海原と豊かな自然に恵まれ、近代文化発展の魁となったこの地で、地域の伝統及び文化を継承し、新しい学校文化を創造するとともに、知性、徳性、体力の調和と調和のとれた人間性やひたむきに物事に取り組む姿勢を養い、適性や能力に応じた生徒一人一人の自己実現と、地域、日本そして世界の明日を担う有為な人材の育成を目指す。			
昨年度の成果と課題		重点項目	重点目標	達成状況	
<p>昨年度の進路実績において、就職希望者の内定率100%を一昨年に引き続き達成し、また進学実績でも進学希望者が志望校へ合格するなど成果がみられた。また、部活動では、コロナ禍の中においても全国レベルの大会で活躍する生徒がおり、さらに県大会で活躍する部活動が増加するなど成果がみられた。</p> <p>一方で学習面では基礎学力の低い生徒や個別に支援が必要な生徒も見られ、より多様な対応と基礎学力の向上、さらに進路実現等を同時に目指すことが必要である。今後も地域から期待され、信頼される学校づくりに努力していかねばならない。</p>		<p>基本的な生活習慣の確立と規範意識の高揚</p>	<p>① 遅刻の防止、チャイム着席等の時間厳守を徹底する。</p> <p>② 服装・頭髪の指導を継続的に進め、秩序ある学校生活を送れるよう指導を徹底する。</p> <p>③ 「あ・そ・ぶ・べ・な」(挨拶、掃除、部活動、勉強、仲間づくり)の行動指針を実践する。</p>	C	
		<p>地域社会の期待に応える人材の育成</p>	<p>④ 集団生活における自己の役割と責任を自覚させ、社会のルールやマナーを守りながら主体的に行動できる力を育成する。</p> <p>⑤ 地元企業や地域住民との連携など地域の教育力を活かした活動をととして、地域の一員であることの自覚を高め、併せて地域社会で役立つ力を育成する。</p>	C	
		<p>就職希望者の進路意識向上と基礎学力の育成</p>	<p>⑥ 進路を主体的に選択する能力や態度を育成する。</p> <p>⑦ 生徒が主体的に学び考え実践する授業を心掛け、生徒の学習意欲を引き出し、基礎的・基本的な知識・技能の確実な定着を図る。</p> <p>⑧ キャリア教育を推進し、キャリア・パスポート等によって各教科や進路行事等で学んだこと、体験したことを振り返りまとめさせることで意識を改革し、生徒一人一人の特性に応じた進路実現を目指す。</p>	C	
		<p>進学希望者の入試に対応できる確かな学力の育成</p>	<p>⑨ キャリア・パスポート等によって生徒一人一人に学習や生活の見通しを持たせることで早期に目標を明確にさせ、主体的・継続的に進路実現に取り組む態度を育成する。</p> <p>⑩ 基礎的・基本的な知識・技能の確実な定着の上に、思考力・判断力・表現力等の伸長を図る。</p>	C	
		<p>教職員の働き方改革を進める</p>	<p>⑪ 在校時間管理ソフトウェアを適正に活用することで、教職員自身も自らの勤務実態に向き合い、業務改善や効率の向上を図る。</p> <p>⑫ 教職員が自らの授業を磨くとともに、その人間性や創造性を高め、生徒たちに対して効果的な教育活動を行うことができるよう、放課後等の会議や打合せ等を精選するなどの業務改善を図る。</p>	C	
ICT活用教育の推進			⑬ タブレットや電子黒板等を効果的に活用し、授業力向上を図る。		
三つの方針		具体的方策		評価	次年度への主な課題
三つの方針 (スクール・ポリシー)	「育成を目指す資質・能力に関する方針」 (グラデュエーション・ポリシー)	地域の伝統及び文化を継承し、地域と共に生き、新しい学校文化を創造するとともに、知性、徳性、体力の調和のとれた人間性やひたむきに物事に取り組む姿勢を身に付けた、地域社会に期待される人材の育成		C	地域への貢献活動を行う。
	「教育課程の編成及び実施に関する方針」 (カリキュラム・ポリシー)	多様な学習ニーズに対応した学習活動とキャリア教育による、生徒一人一人の適性と希望に応じた進路実現			進路実現に向けての学力向上。
	「入学者の受入れに関する方針」 (アドミッション・ポリシー)	校訓「真摯にしてまなざし高く」を実践するために、学校や社会の規範を守って日常生活を送ることができ、勉強も部活動等にも積極的に取り組む意欲のある生徒			部活動の精選。
評価項目	具体的目標	具体的方策		評価	次年度への主な課題
教科指導	基礎学力の育成	学習意欲の低い者・学力の低い者への計画的な指導を行う。		C	教科間の研修。
	学習指導法の工夫	「主体的・対話的」な学習形態を取り入れ、学習意欲を高め「深い学び」が実現できるよう工夫・改善を図る。			
	研究授業の推進	全教科全教員による互見授業を実施し、「主体的・対話的で深い学び」について教科研修等を行う。			
教科 語	基礎学力の向上	チャイム着席を励行し、授業開始の準備が整ってからの授業展開を徹底する。		B	ICT教材の共有データを増やす。
		漢字力や語彙力を向上させるため、少人数授業やティームティーチング授業、小テスト等の実施を図る。			
		話す・聞く・書く・読むの基本的な力を身につけさせる。			
	ノート点検や宿題のチェックなどを通じて、成績不振者への早期対策を図る。				
	ICTを活用し、情報を収集・整理し、見極める力をつけさせる。				
進路実現のための学力の定着	生徒の実態に合わせた小論文指導や課外指導に努める。				
楽しい国語の授業づくり	公開授業を実施し、授業内容や方法等について研究協議する。				

評価項目	具体的目標	具体的方策	評価	次年度への主な課題		
教 科	地 歴 公 民	基礎学力の向上	始業・終業時間を厳守し、「わかる授業」の展開を図る。	①⑥⑦	B	地図の活用。 基礎知識の定着。 時事問題の取り扱い増加。
			教科書の知識の確かな定着をめざす。	⑤⑥⑦		
			生徒の実態に応じた指導を行う。	⑦⑨		
			年間学習指導計画に基づき、進度をふまえて授業を実践する。	⑦⑨⑩		
		進路の希望に対応できる学力の充実	社会認識を深められるような授業の研究と実践に努める。	⑥⑦⑧⑨		
			新聞やニュース記事を用いて、時事問題に関心を持たせる。	⑤⑦⑩		
	生き生きとした授業の展開	タブレットや電子黒板などのICT教材を積極的に活用する。	⑤⑦⑬			
		プリント学習等を取り入れ、個々の積極的な授業参加を目指す。	⑦⑩			
	数 学	基礎学力の向上	ティームティーチングによる授業や少人数授業による指導を行い、学習内容の定着をはかる。	⑦⑨⑩	B	タブレット端末の積極的な活用。
			定期考査や各単元ごとに重要点や留意点を整理させる振り返りの時間を設定し、学習事項のまとめをさせる。	⑦⑨⑩		
		家庭学習習慣の定着	定期考査に向けた課題や長期休業中の課題を通して、学習習慣のまとめを確認をさせる。	⑦⑨⑩		
		授業の改善	授業公開での授業見学や教員間の意見交換等により、授業内容・指導方法等について研究協議する。	⑦⑩		
	小テストや定期考査から理解度を把握し、知識技能の習得のために適切な課題設定や、タブレット等のICTを活用した授業の設定など改善を行う。		⑦⑩⑬			
	理 科	基礎学力の向上	ICT機器を用いながら、自然現象に対する興味・関心を高める工夫をし、学力の向上に努める。	⑦⑩⑬	B	ICT機器を使用し、生徒の理解を促す。
			タブレット等を用いながら、基礎問題を多く解くことにより、基礎学力の定着と向上に努め、不十分な生徒には補習等を学習内容の定着のため、質問を受ける時間を確保し解決にあたる。	⑦⑩		
		学習習慣の定着	ノートやレポートの提出を定期的に行うことで、学習習慣の定着を図る。	⑦⑩		
		授業の改善	担当者全員が授業を公開し、授業内容・方法等について教科内で研究協議する。	⑦⑩⑫		
	保 健 体 育	健康安全に留意した授業の展開	常に生徒の健康状態を把握し、安全管理に留意しながら実技を実施する。	④⑤	A	教員間の情報共有。
			備品の補充や器具等の安全性について定期的に点検する。	④⑤		
			ICT機器を活用し、知識・理解のさらなる定着を図る。	⑬		
		豊かなスポーツライフの基礎を培う体育学習の工夫	集団行動の重視により、自己コントロール力を身につけさせる。	④		
			自発的な動機づけを大切に、同じ種目を選択した仲間と協力して課題を解決して学ぶ態度を育成する。	④⑤⑧⑨⑩		
			授業前に整列、チャイムと同時に県具体操を正しく行うようにする。	①⑥		
		授業内容・方法等について工夫し、研究協議等を行う等、常に改善を図る。	⑥⑧⑩			
	水泳の授業・マラソン大会の練習では、積極的に参加し、不十分な生徒に補講を実施する。	⑥⑦⑩				
芸 術	基礎的・基本的な内容の重視	生徒の実態に応じ、適切な課題を設定して学習する。	⑦⑩	B	タブレットを用いた授業実践。	
		授業前に着席・チャイムと同時に授業を開始できるようにする。	①②			
	生徒の興味・関心がわく授業の展開	ビデオ・DVD・コンピューター等の視聴覚機器を活用し、生徒がよりわかりやすく学べるよう工夫する。	⑦⑬			
日本の伝統文化を愛好する心情の育成	年間計画の中に日本の文化と伝統的な芸術の特色を含んだ学習内容を取り入れる。	⑦				
英 語	基礎学力の向上	小テストを実施し、学習内容の定着度を分析する。	⑦⑩	C	授業規律の確立。 クラスルームイングリッシュの活用率アップ。 生徒のタブレット使用の習慣化。 生徒の学力を上げる教材研究。	
		生徒のレベルや要望に合わせ、個別指導を実施する。	⑦⑩			
	家庭学習の習慣化	定期的に宿題を出し、回収、点検をする。	⑦⑩			
	英語でコミュニケーションを図ろうとする態度の育成	クラスルームイングリッシュを適度に活用し、英語学習への雰囲気づくりに努める。	⑦			
		視聴覚教材等の補助教材を有効利用し、生徒の興味を引きつける。	⑦⑩			
	指 導 法 の 改 善	ALTとのティームティーチングを通して、生きた英語に触れさせる。	⑩			
		教材研究を十分に行い、日々の授業実践の中で効果的にICT機器を活用しながら改善の努力をする。	⑦⑫⑬			
		教科内で授業を公開し、指導法について研究協議する。	⑦⑫			
教員の英語の運用能力を高める努力		各研修会に積極的に参加する。	⑫			
	ALTとのコミュニケーションや各検定の受験等の機会を通し、自己の英語活用能力を高める。	⑫				

評価項目	具体的目標	具体的方策	評価	次年度への主な課題					
教科	家庭	自立した生活に必要な基礎的・基本的な知識と技術の習得を図る	授業開始時刻と終了時刻を厳守させ、服装や飲食物に関するルールを徹底する。 生徒の実態に即した授業展開をする。	①②④ ④⑦	B	タブレット端末の効果的な利用方法を模索すること。			
		情報	社会人に必要な情報伝達能力を身につけさせる	タブレット、電子黒板等のICT機器を活用し、生徒が視覚的に理解できるようにする。 パソコン等を用いて、文書や、表計算、グラフ作成、プレゼンテーション資料の作成を行い、コンピューターを活用できる能力と情報デザイン力を育む。			⑦⑩⑬ ⑦⑩	C	基本的な活用方法の定着。
			商業	基礎学力の向上			副教材やプリント、ICT機器等を活用し、学習内容の定着を図る。		
	ビジネスに必要な知識・態度等の涵養	検定等にも対応できる専門的知識の習得に努める。		⑥⑨					
		教科の指導を通してコミュニケーション能力やビジネスマナーの涵養を図る。		①②④⑤					
	教務	授業時間の確保	授業の終始時刻の厳守に努める。 出張・年休等における授業交換等の徹底を図り授業時間の確保に努める。	①④ ⑦⑩	C	仕事の細分化と共有。 校内諸規程の見直し。 PTA活動を中心とした地域との連携。 図書館利用者の増加。			
グランドデザインに基づく特色ある教育課程の編成		グランドデザインに基づいた教育課程の編成を行う。 3年間を通したコース毎の到達目標・指導計画の確立を図る。	⑧⑨ ⑧⑨						
情報管理の運営		学校全体のデータ管理、データ処理の援助を行い、校内LANシステム、支援システムの円滑な運用を図る 生徒が所有する学習用端末の持込利用について円滑な運営ができるよう支援し、ICTを用いた授業の促進	⑥⑨⑩ ⑦⑩⑬						
校内研修の充実		新学習指導要領、観点別学習評価、人権等についての研修の充実を図る。 「道徳」、「総合的な探究の時間」の実施について、各年次と関係分掌との連携を図る。	⑦⑩⑫ ④⑧						
広報・広聴の推進		学校案内・学校便りを作成し、地域・中学校・保護者へのPRを積極的に行う。 HPの更新を随時行い、地域・中学校・保護者へのPRを積極的に行う。	②③ ③⑤						
読書環境の整備と広報		図書館内の美化や図書の配置・配架を考え、利用しやすい環境を整備する。 「図書館報」やライブラリーニュースを発行し、新着図書の連絡や読書の効用などを周知する。	④ ④						
図書館利用の促進		図書館利用を活性化する。 図書館行事などを工夫し、利用促進をはかる。	⑦⑨⑩ ⑦⑩						
PTA主体の活動の活性化		地域社会と連携して各種行事に参加する。	⑤						
		広報係、研修係、生徒指導委員の活動の協力を図る。 PTA総会や学校行事への保護者の参加者数を多くする。	④⑤ ④⑤						
進路指導		生徒の主体的な進路選択支援	「進路の早期決定」を目指し、キャリア教育を計画的に行う。	⑥⑨			C	基礎学力の向上。	
		進学指導の充実	合格実現と進学後に対応できる学力の養成を図るため、課外授業、面接練習、小論文等の指導を行う。	⑩					
		就職指導の充実	基礎学力の定着を図るため、各教科と連携し指導を行う。	⑦					
生徒指導	基本的生活習慣の確立	学校一丸となって正しい制服の着用や頭髪になるよう指導の徹底を図る。 登校指導を通して容姿指導を行ったり、SHRや授業への遅刻を少なくするよう指導する。	② ①②③⑥	B	キャリアパスポートの活用。 学校一丸となって、指導を徹底する。				
		規範意識とモラルの向上	言葉遣いや礼儀の指導を積極的に行う。 規則を遵守して生活できるよう、集会やHRを通して指導していく。 授業妨害、反抗的態度、暴言等には毅然とした態度で指導に臨む。 校内の盗難事故をなくす。			③④⑤ ④⑤ ④⑥ ④			
	危機管理と問題行動の未然防止	生徒の発する小さなサインにも常に注意を払う。 家庭訪問等を積極的に行い、保護者及び外部機関との連携を密に取る。 校内・校外の巡回指導を計画的に行う。	② ④⑤⑥ ④⑥						
		問題を抱え込まず、年次を越えて情報連携を行う。	①②④⑥						
		集会やHRの指導を通して、交通ルールやマナーを遵守する態度を養う。	④⑤						
	交通事故の未然防止	二輪車及び四輪車の事故をなくす。 免許取得に関するルールを遵守する。	④⑤ ④⑤						
		生徒会活動の自主的な計画を促し、主体的な活動を支援する。 生徒会主体による学校行事の活発化を図る。	③④⑤ ④⑤						
	生徒の主体的な活動の支援	キャリアパスポート等によって学習や生活に見通しを持たせ、活動について振り返りまとめさせることで、主体的に行動できるように支援する。	③④⑧⑨						

評価項目	具体的目標	具体的方策	評価	次年度への主な課題	
保健厚生	生徒・教職員の心身の健康の増進	学校環境の安全点検、健康診断の実施及び統計、保健室の管理運営に努める。	⑤	B	配慮が必要な生徒への対応を共有する。
		防災避難訓練の計画と実施、非常時の安全対策を行う。	④⑤		
		性教育講話の計画と実施、性に関する正しい知識の育成を行う。	⑤		
		生徒、教職員の心身の健康保持増進を図るため、積極的な広報と研修会を行う。	⑤		
		風邪やインフルエンザ等の感染症、食事、保健室の利用状況等について情報を共有する。	⑤		
	生徒の学習活動のための環境設備の充実	清掃指導の徹底、清掃用具の管理に努める。	③④		
		学期に1回、全校生徒による大掃除を行い、学習環境の整備と環境美化意識の向上に努める。	③⑤		
		環境整備の一環として、販売業者との連絡・調整を行い、円滑に販売できるよう連携を図る。	③④⑤		
	教育相談の充実	教育相談について、担任・学年をバックアップできる体制を整える。	③④⑤		
専門機関・スクールカウンセラーと連携してカウンセリングを行う。		③④			
教育相談・カウンセリングを通して、教員・生徒の支援活動をする。		③④			
1年次	基本的生活習慣を確立する	あいさつ、礼儀、みだしなみ、言葉遣いを徹底させる。	③④⑤	C	規範意識の醸成と他者とのつながりの大切さの認識育成を行う。
		校則を遵守させ規範意識を育てる。	①②④⑤		
		家庭との連絡を密にし、信頼関係の構築につとめる。	①②③④		
	文武不岐を実践する	将来の目標をもたせ学習に対する意欲を喚起する。	⑥⑦⑧⑨⑩		
		部活動に積極的に取り組ませ高校生活を充実させる。	③④⑤		
		学校行事、HR活動等に意欲的に取り組ませ仲間との協調性を高め、人間関係を構築する。	③④⑤		
進路選択に向けて社会性を育てる	総合学習・LHRを充実し、自己の在り方・生き方について考える。	③④⑤			
	自己を見つめ様々な考え方・生き方・職業があることを認識させ、社会とのつながりがもてるようにする。	③④⑤⑧			
2年次	基本的生活習慣を確立する	あいさつ、礼儀、言葉遣いの指導を根気強く行う。	③④⑤	B	進路実現に向けての学力向上。
		校則を遵守させ規範意識を育てる。	①②④⑤		
		家庭との連絡を密にし、信頼関係の構築につとめる。	①②③④		
	文武不岐を実践する	将来の目標を確立し、学習に対する意欲を喚起する。	⑥⑦⑧⑨⑩		
		部活動に積極的に取り組ませ高校生活の充実を図る。	③④⑤		
		学校行事、HR活動等に意欲的に取り組ませ仲間との協調性を高め、人間関係を構築する。	③④⑤⑬		
進路目標を確立する	進路講話会やインターンシップに積極的に取り組み、自分を見つめ進路目標を確立させる。	⑥⑧⑨⑬			
	希望進路実現のため早期から学力の向上と進路意識の向上に努める。	⑥⑦⑧⑨			
3年次	基本的生活習慣を確立する	あいさつ、礼儀、言葉遣いの指導を根気強く行う。	③④⑤	B	言葉遣いの指導。 チャイム着席の指導。 進路決定後の学校生活の指導。
		家庭との連携を図り、規範意識のさらなる向上に努めさせる。	②③④⑤		
		提出物の期限を守ることや、遅刻者などへの指導を根気強く行う。	①③④⑤		
	文武不岐を実践する	部活動、学校行事、HR活動等に主体的に参加させ、人間性を高める。	③④⑤		
		授業でのチャイム着席を徹底し、真剣に授業に取り組ませる。	①③④⑦		
		進路講話会や面接練習に積極的に取り組み、自分を見つめ進路選択を確立させる。	⑥⑧⑨		
進路実現への支援	希望進路実現のためさらなる学力の向上と進路意識の向上に努める。	⑥⑦⑧⑨			

※ 評価基準 : A:十分達成できている B:達成できている C:概ね達成できている D:不十分である E:できていない